



岡山大学記者クラブ 御中

令和4年6月30日

岡山大学

不妊・不育とこころの講演会『不妊・不育治療の実際』  
をオンラインで開催  
4月から始まった保険適用の情報も

◆発表のポイント

- ・子どもが欲しいのに、妊娠しない不妊症、流産や死産を繰り返す不育症のカップルは増えていきます。なかなか聞けない、その検査や治療法について、専門家がわかりやすく解説します。
- ・4月から始まった、一部の不妊治療、不育治療の保険適用についての情報、行政による治療と仕事との両立への支援についてもお伝えします。
- ・講演会の後は、不妊症・不育症カップルへの個別相談も行います（要予約）。

近年、子どもが欲しいのに、妊娠しない不妊症、流産や死産を繰り返す不育症のカップルは増えていきます。不妊症カップルは5.5組に1組、また、不育症の女性は4.2%とのデータもあります。

岡山大学大学院保健学研究科が運営している岡山県不妊専門相談センターでは、生殖医療サポーターの会OKAYAMAの協力で「不妊・不育とこころの講演会」を毎年開催しています。

「不妊症・不育症の原因は?」「どんな治療があるの?」など、治療を始めようか迷っているカップルや治療中のカップルが、日頃、聞きたくても聞きにくいことは多いと思います。その疑問に、実際に生殖医療を担当している産婦人科医、泌尿器科医がわかりやすく解説します。また、体外受精などを担当する胚培養士が、様々な「受精卵」の状態の違いをお示しします。また、2022年4月から、一部の不妊治療、不育症治療の保険適用が始まりました。今回は保険適用の情報についてもお伝えします。

不妊治療は頻繁に病院に通うこと、直前になって通院の予定が決まるなど、仕事との両立で悩む方が多いです。今回は岡山労働局で実際に仕事と不妊治療の両立を支援している講師からお話しします。

また、不妊症・不育症のカップルは心理的に追い込まれることもあります。「なかなか子どもができない夫婦の気持ちの持ち方は?」「夫婦のコミュニケーションの取り方は?」など、生殖医療を受けるカップルを担当する臨床心理士がアドバイスします。

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」では、無料でいつでもご相談をお受けしています。また、定期的に、不育症の当事者の会「ママとたまごの会」も開催しています。センターのこのような活動についてもご紹介します。さらに、講演会の後は、相談員が、オンラインでの個別相談も行います。

『Zoom』を使用したオンライン・セミナーのため、パソコン、スマホ、タブレット等をお持ちでしたらどこからでもご参加いただけます。ぜひお気軽にご参加ください。



## PRESS RELEASE

### <開催概要>

1. 名 称 第 18 回 不妊・不育とこころの講演会「不妊・不育治療の実際 保険適用の情報も」
2. 日 時 2022 年 7 月 30 日（土）10：00～12：20（オンライン開催）  
12：30～「何でも相談室」での個別相談（Zoom）（要予約）
3. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。
4. 申込方法

#### 【講演会参加の場合】

メール（[josan@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:josan@cc.okayama-u.ac.jp)）に、お名前、ご連絡先、ご所属、  
「講演会参加希望」と本文に明記してお送りください。

#### 【個別相談お申し込みの場合】

メール（[josan@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:josan@cc.okayama-u.ac.jp)）に、お名前、ご連絡先、ご所属、  
「個別相談希望」と本文に明記してお送りください。

※要事前申し込み。（Zoom 参加の URL をお送りします）

※締め切り：7 月 29 日（金）15 時まで 厳守（講演会・個別相談ともに）

5. 参加費用 無料

### <補足>

詳しい情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

### ◆研究者からのひとこと

「With コロナ/Post コロナ時代に子どもを持つこと」は新たな重要課題です。中塚研究室では、多くの研究者や学生がリプロダクションやジェンダーについて研究しています。気軽にご連絡ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



岡山大学学術研究院保健学域  
中塚 幹也 教授

### <お問い合わせ>

岡山大学学術研究院保健学域 教授 中塚 幹也  
（電話番号・FAX）086-235-6538

岡山大学大学院保健学研究科  
「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局  
（電話番号・FAX）086-235-6538

